## 男の純情 文語譯と英譯

高田 友

甚だしく俗化したる青春讚歌と言ふべきか。 マなれど、 「男の純情」は昭和十一年に公開せられたる日活映畫「魂」の主題歌なり。 作詞佐藤惣之助。 この主題歌は粹なる男の憧れの金の星とぞなれりける。 無賴漢、 女の愛に打たれて更生すとの水戸黄門に相似たる定番ドラ 「男兒立志出鄕關」を 作曲古賀政

## 男命の純情は

燃えて輝く金の星

夜の都の大空に

曇る涙を誰が知ろ

男の誠、何にかたぐふべき

都の夜空に燃えて輝く金の星ならん。

但、蒼穹を見上ぐと雖も、

その光淚に遮られて捉ふるを得ず

Man's sincerity could be compared to

That golden star burning brilliantly in the metropolitan nocturnal sky.

Although I look up for it in the firmament,

Yet my tears prevent me from catching sight of its light.

訊いてくれるなこの胸を

所詮男の行く道は

なんで女が知るものか

我が身零落して寠るとも、

問ふなかれ、渡世如何ならんと。

畢竟、これぞ男の意氣地なる。

汝、女人の身を以て、何すれぞ穿鑿あるべき。

Now I am reduced to an outlaw.

Still, I ask you not to ask me what to do with my own life.

After all, the way a man makes his way,

Why could a woman make sense of?

3 昨日出入りの斬り込みに

知るや無常の人の世を

落ちた地獄の血の雨に

朽ちて行くのさこの夢も

昨日、仁俠一宿一飯の恩義に報い、

現し世の酷きを篤と知る。

已而地獄に墮ちたり、血の雨ぞ降る。

ああ、わが夢、空しからんとす。

Yesterday, I took part in the gangster fighting,

And realized to the bone how cruel the human world is.

Now that I ve fallen into the hell, where rain of blood is falling,

My dream is going to go up in smoke.

4 暗い夜空が明けたなら

若い緑の朝風に

金も要らなきゃ名も要らぬ

愛の古巣へ歸らうよ

ぬばたまの夜の明けゆけば、闇より逃るるを得べし。

さやかなる朝の風待つ故郷に憧るるや久し。

ああ、我妹、かの優しき住處に我をいざなへ。

世の毀譽褒貶、我儕に於て何かあらん。

Should dawn break and could I escape from this darkness,

Pure and clean morning wind would be waiting for us.

My love, let s go back to our nest of love,

Where neither money nor fame counts.

インタネットにて聞し召されんとの各位には藤山一郎もし

くは三橋美智也を推奬仕る。

(令和三年九月二十五日受